

第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ報告

橋 祐貴

8月29日～31日に神奈川県厚木市の厚木市文化会館を会場に「第33回リハ工学カンファレンス IN あつぎ」が開催され、兵庫のメンバーも4名が発表しました。私自身は発表していませんが3日間とも参加しました。

リハ工学カンファレンスに私が初めて参加したのは昨年の神戸でした。最終日のみの参加でしたが、障害当事者と専門家が同じ場で発表していて、「アットホームな雰囲気だな」と感じました。閉会式で今年の開催地が厚木であることを知りました。厚木には受傷してから何度か訪れていて思い出がありますが、同行する介助者を確保することが問題でした。ダメもとで相談してみると同行する学生を探してくれるということで厚木に行くことが決まりました。

当日に向けてまずは切符の手配をしました。いつもは車いす席を利用していますが、今回は初めて電動車いすでの新幹線利用で操作に不安があったため多目的室を予約しました。1週間前に学生さんとの打ち合わせを行い、当日を迎えました。

29日の朝、新神戸駅で集合して新幹線に乗車。多目的室は思っていたよりも広く快適でした。山側に窓があるので「富士山が見えるかも」と期待していましたが、窓が小さくて景色はほとんど見えませんでした。新横浜駅で島本さんと合流して厚木へと向かいましたが、人の多さでスムーズに進むことができず何度か待ってもらいながらの移動となりました。



新神戸駅にて

会場の厚木市文化会館に到着後、昼食を食べて

から会場へ。エレベーターの間口が狭かったのでぶつからないかひやひやしました。会場では以前お世話になった神奈川リハのPTと久しぶりに会うことができました。夜は交流会に参加し、1日目が終了しました。

2日目は朝一番に島本さんの発表があったため別行動で学生と会場まで移動しました。まずは宮野さんのチェアスキーの発表を聞き、すぐに島本さんの会場へ移動したものの、すでに発表は終わっていました。同じ時間帯にいくつかの発表が重なるので、どの発表を見に行くのか予めスケジュールをきちんと組んでおくべきでした。午後は特別企画の「航空機利用に伴う相互理解～みんなでハッピーフライト」へ。私も何度か航空機を利用したことがありますが、預けた車いすのトラブルに見舞われたこともあり、まだまだほかの交通機関ほど気軽に利用できる乗り物になっていないと感じています。当事者と航空会社とがお互いに理解しあってより利用しやすいものになればよいなと思いました。夜はSIGの交流会で焼き肉屋へ。店の入り口がまさかの階段でどうしようかと思いましたが、急きょスロープを手配してもらい、スロープから脱輪しないかひやひやしながらも無事入店することができました。

最終日は出発の準備でバタバタしたものの、会場までの道路にも慣れ比較的スムーズに到着。この日は頸損連のメンバーが多く発表していて、特にアクティビティの発表は自分もダイビングをしていることもあり興味深かったです。閉会式後、会場の前で写真を撮り神戸へ帰りました。

今回は今までとは違い初めての電動車いすでの遠出で、ちょっとしたハプニングはいくつかありました。初めての介助者だったので「何をしてもらいたいのか」をもっと分かりやすく伝えられたら良かったかなとも感じています。それでも3日間大きなトラブルもなく過ごすことができたのは大きな自信になりました。今回の経験をこれから生かしていければよいなと思います。